

『標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版』 正誤表

このたびは『標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2020年12月2日作成，2023年2月7日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1～3	33 頁，上から 5 個目のキーワード「日常生活活動 (ADL)」	手段的日常生活活動ともいう人が生活していくために	人が生活していくために	2020/11/30
1～3	33 頁，上から 6 個目のキーワード「生活関連活動 (IADL)」	Instrumental ADL, ADL に加えて，	Instrumental ADL, 手段的日常生活活動ともいう，ADL に加えて，	2020/11/30
1～3	51 頁，右段上から 2 行目	また，作業療法士自身も，治療者とその家族，	また，作業療法士自身も，対象者とその家族，	2020/12/2
1～6	117 頁，右段上から 1 行目	上半身の情報は，下部延髄の薄束核，下半身の情報は，楔状束核で二次ニューロンに伝達される．	上半身の情報は，下部延髄の楔状束核，下半身の情報は，薄束核で二次ニューロンに伝達される．	2022/11/8
1～6	169 頁，表 1, 「機能的分類」の 3 行目	運動神経	混合神経	2023/2/6
1～6	169 頁，左段下から 3 行目	3・4・6・11・12 は運動神経系，5・7・9・10 は感覚・運動・自律神経系の混合神経系である (▶表 1)．	4・6・11・12 は運動神経系，3・5・7・9・10 は感覚 (3 を除く)・運動・自律神経系 (5 を除く) の混合神経系である (▶表 1)．	2023/2/7



医学書院